



**MITSUBISHI
MOTORS**

**2022年度
第1四半期 決算報告**

2022年7月27日

1. 2022年度第1四半期 実績

2. 2022年度 業績見通し

3. ビジネスハイライト

2022年度第1四半期 業績サマリー【前年同期比】



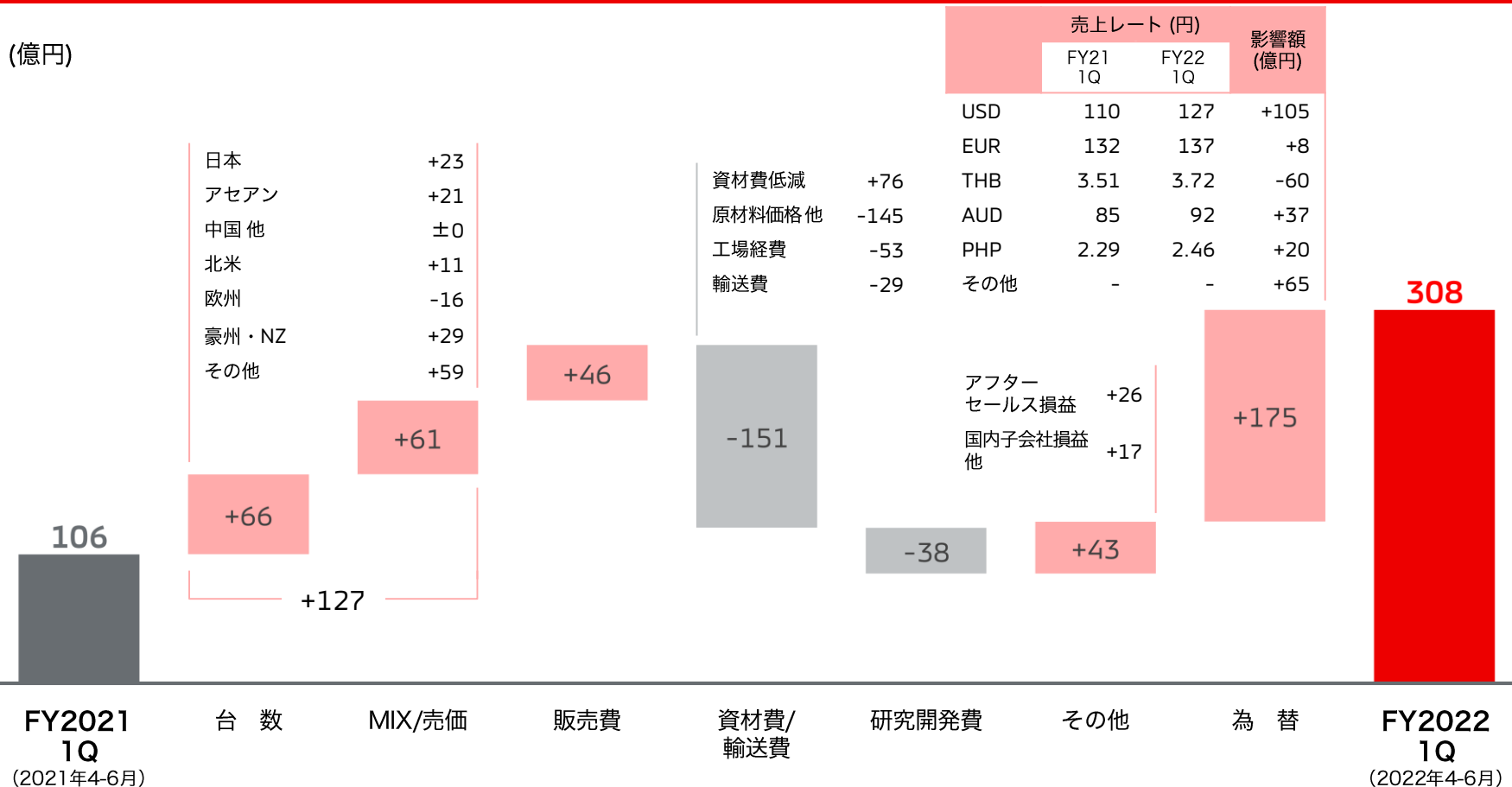
(億円、千台)	FY2021 1Q (2021年4-6月)	FY2022 1Q (2022年4-6月)	増減	
			差異	率
売上高	4,319	5,287	+968	+22%
営業利益 (利益率)	106 (2.5%)	308 (5.8%)	+202	+191%
経常利益	112	495	+383	+342%
当期純利益*	61	386	+325	+533%
販売台数 (小売台数)	230	217	-13	-6%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

2022年度第1四半期 営業利益変動要因分析【前年同期比】



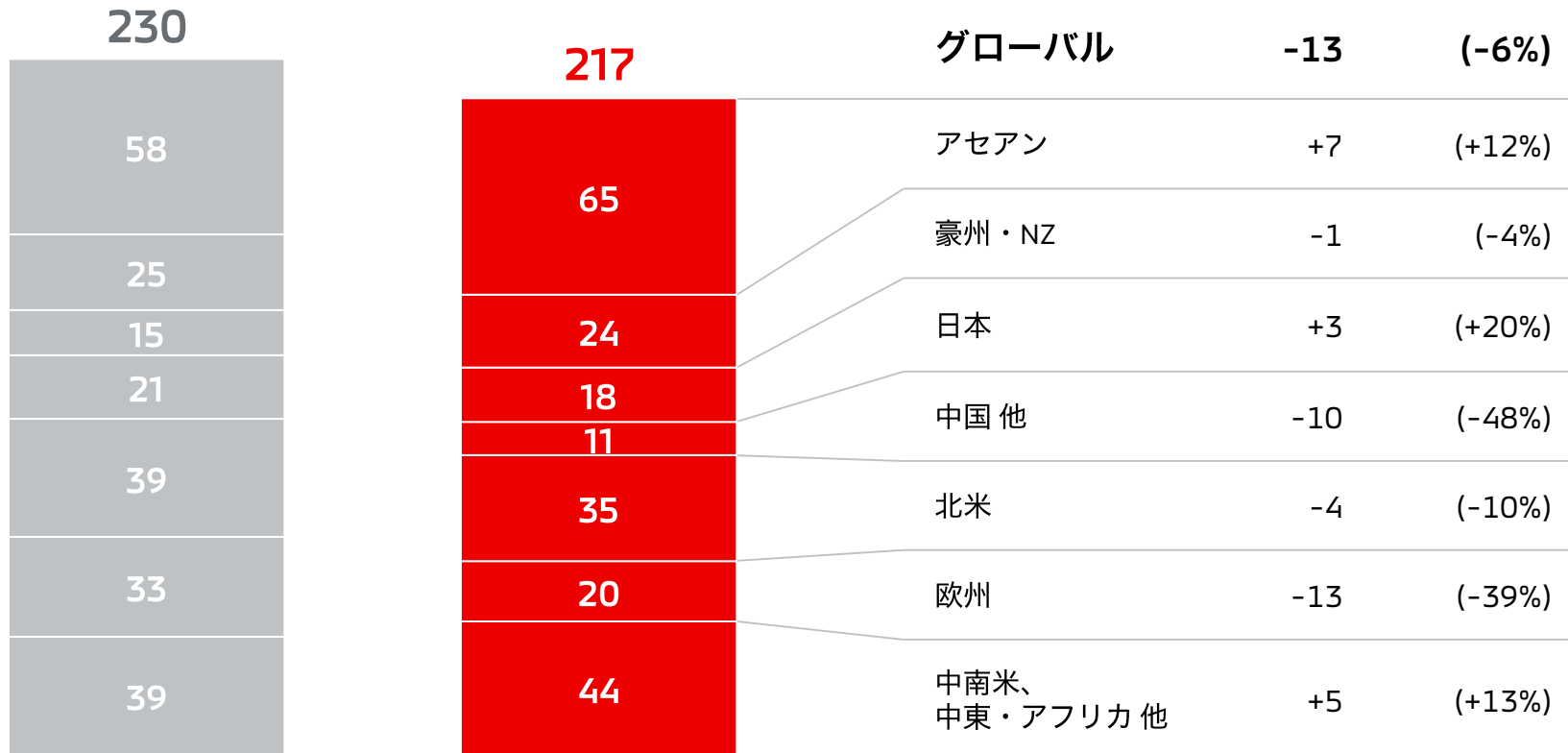
(億円)



2022年度第1四半期 販売台数実績【前年同期比】



小売台数（千台）



FY2021 1Q
(2021年4-6月)

FY2022 1Q
(2022年4-6月)

2022年度より欧州の一部国を「中東・アフリカ 他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2021年度実績数値も同様に変更。

アセアン

販売台数・マーケットシェア (当社調べ)

	FY2021 1Q		FY2022 1Q
アセアン	58千台	→	65千台
タイ	11千台 (6.4%)	→	13千台 (6.8%)
インドネシア	26千台 (12.6%)	→	24千台 (10.8%)
フィリピン	8千台 (12.3%)	→	10千台 (12.7%)
ベトナム	8千台 (10.7%)	→	9千台 (8.9%)



- 各国の厳しい移動制限措置が緩和され、市況回復傾向が継続
- 半導体供給制約や上海ロックダウン影響により総需要回復に生産販売が追いつかず一方でインドネシアをはじめ主力モデルの受注が好調
- ➔ 供給制約や原油・物価高影響等の先行き不透明感を注視しつつ、状況に応じた販売マーケティング（ショッピングモールでの展示販売イベント、試乗促進やデジタルツール）の強化を継続的に実施

豪州・NZ

販売台数・マーケットシェア (当社調べ)

	FY2021 1Q		FY2022 1Q
豪州・NZ	25千台	→	24千台
豪州	20千台 (6.7%)	→	18千台 (7.0%)
NZ	5千台 (13.1%)	→	6千台 (16.4%)



- 車両供給制約の解消が見られない中、総需要が伸び悩み
- 供給制約を受けない車種での挽回や新型アウトランダーの優先供給 (豪州)、Clean Car Discount施策を捉えたPHEVモデルの拡販 (NZ) でシェア拡大
- ➔ 販売モメンタムの低下が顕在化するリスクを注視しつつも、生産制約影響を最小化・新型車効果の最大化を図る

北米

販売台数

	FY2021 1Q		FY2022 1Q
北米	39千台	→	35千台
うち アウトランダー	(9.6千台 旧型+新型)	→	12.5千台) 新型



- 旺盛な新車需要に対して供給が追いつかず、総需要が伸び悩み
- 新型アウトランダーが販売を牽引、今年6月迄13カ月連続で月販3千台以上を達成中
需要に対応しきれない状況が継続
- ➔ デジタルマーケティングの強化による販売効率化とともに、商品力の訴求によりインセンティブに頼らない販売へのシフトに取り組む

日本

販売台数

	FY2021 1Q		FY2022 1Q
日本	15千台	→	18千台
登録車	6千台	→	10千台
軽自動車	9千台	→	8千台



- 半導体不足や上海ロックダウンによる車両供給不足で総需要が低水準に
- 新型アウトランダーPHEV、eKクロス EVの受注好調に加え、生産遅延が想定よりも好転
- ➔ 電動車を中心とした拡販により、電動車=三菱自動車のイメージの浸透を図る
サービス及びお客様接客品質向上等にも注力しながら、販売全体の質の改善に取り組む

1. 2022年度第1四半期 実績

2. 2022年度 業績見通し

3. ビジネスハイライト

2022年度 業績見通し【前年度比】

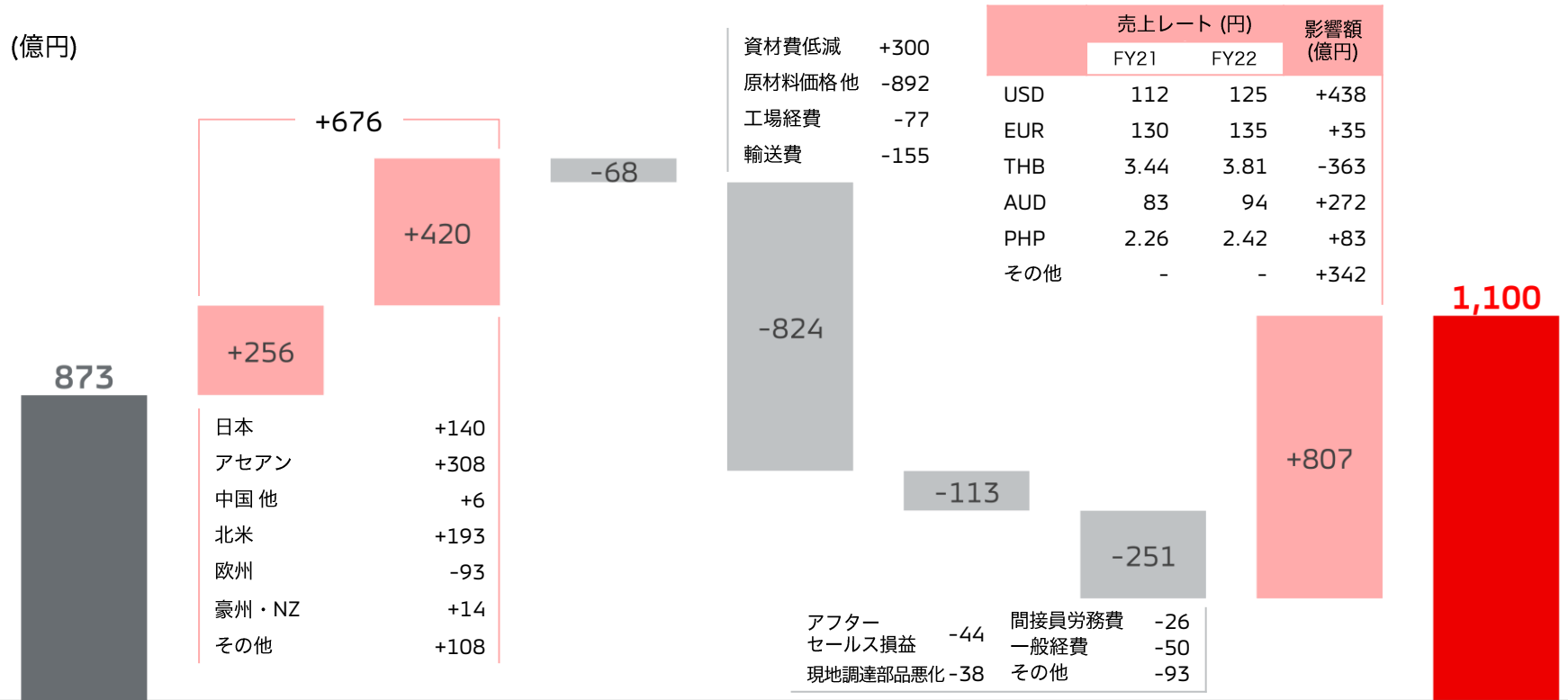
(億円、千台)	FY2021 (2021年4月-2022年3月)	FY2022 見通し (2022年4月-2023年3月)	増減		前回見通し からの増減
			差異	率	
売上高	20,389	23,500	+3,111	+15%	+600
営業利益 (利益率)	873 (4.3%)	1,100 (4.7%)	+227 (+0.4 pp)	+26%	+200
経常利益	1,010	1,200	+190	+19%	+270
当期純利益*	740	900	+160	+22%	+150
販売台数 (小売台数)	937	938	+1	+0%	±0

* 親会社株主に帰属する当期純利益

2022年度 営業利益見通し変動要因分析【前年度比】



(億円)



資材費低減	+300
原材料価格他	-892
工場経費	-77
輸送費	-155

	売上レート (円)		影響額 (億円)
	FY21	FY22	
USD	112	125	+438
EUR	130	135	+35
THB	3.44	3.81	-363
AUD	83	94	+272
PHP	2.26	2.42	+83
その他	-	-	+342

日本	+140
アセアン	+308
中国 他	+6
北米	+193
欧州	-93
豪州・NZ	+14
その他	+108

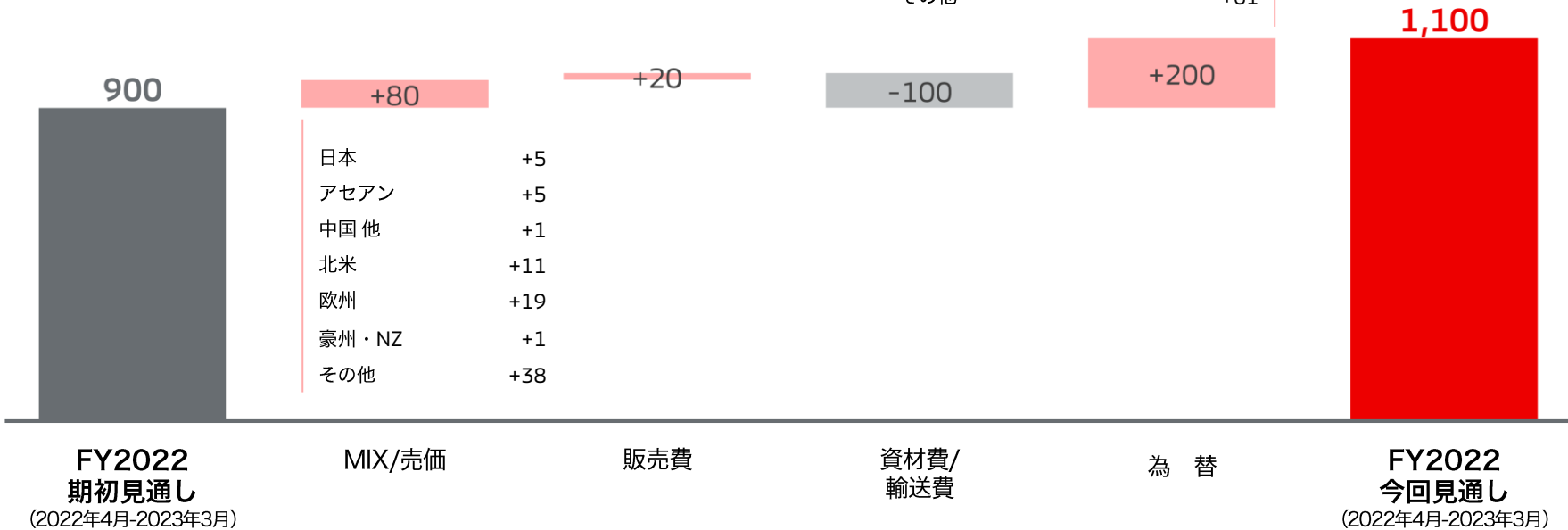
アフター		間接員労務費	-26
セールス損益	-44	一般経費	-50
現地調達部品悪化	-38	その他	-93

FY2021 (2021年4月-2022年3月) 台数 MIX/売価 販売費 資材費/輸送費 研究開発費 その他 為替 FY2022 (2022年4月-2023年3月)

2022年度 営業利益見通し変動要因分析【期初公表比】

(億円)

	売上レート (円)		影響額 (億円)
	前回	今回	
USD	122	125	+122
EUR	136	135	±0
THB	3.77	3.81	-56
AUD	91	94	+79
PHP	2.44	2.42	-6
その他	-	-	+61



1. 2022年度第1四半期 実績

2. 2022年度 業績見通し

3. ビジネスハイライト

新型モデルの販売国拡大



■ ASEAN各国の好調な立ち上がり

- インドネシア (21年11月)に続き、タイ (22年3月)、フィリピン (5月)、ベトナム (7月) に投入
- 各国とも受注・販売が好調
- 内外装のプレミアム感や更に磨きをかけた走行性能・静粛性など高い評価を頂く

当社のコアモデルとして質を伴った拡販に注力

誰もが気軽に選べる軽EV

日常に十分な一充電走行距離180km
(WLTCモード)

国・自治体の補助金制度により
お求めになりやすい価格設定

EVと運転支援機能・コネクティッド技術
が実現した“環境×安全・安心・快適”

想定以上の立ち上がり
(5/20~7/24)

受注**5.4**千台超

株式会社三菱UFJ銀行との協業



■ カーボンニュートラル社会の実現に向けた協業に関する協定書を締結

- 三菱UFJ銀行の顧客基盤・ネットワークを活用、全国の法人のお客様に軽電気自動車ラインナップを有する当社を広くご紹介いただく
- 三菱UFJ銀行及びその関連会社のソリューションを活用した、当社及び当社お取引先の温室効果ガス排出量可視化・削減活動の推進

温室効果ガス排出量削減に向けた企業の取り組みをより一層支援し、
カーボンニュートラルに貢献



**MITSUBISHI
MOTORS**

Drive your Ambition

APPENDIX

2022年度第1四半期末 バランス・シート 【前年度末比】

(億円)	FY2021 (2022年3月末)	FY2022 1Q (2022年6月末)	増減
資産合計	19,284	19,148	-136
うち現金及び預金	5,115	4,795	-320
負債合計	12,981	12,112	-869
うち有利子負債	4,805	4,334	-471
純資産合計	6,303	7,036	+733
自己資本 (自己資本比率)	6,068 (31.5%)	6,775 (35.4%)	+707
ネットキャッシュ 【自動車事業及び消去】	2,497	2,950	+453

2022年度第1四半期 設備投資・研究開発費・減価償却費

設備投資

63億円

-25% (YoY)

研究開発費

255億円

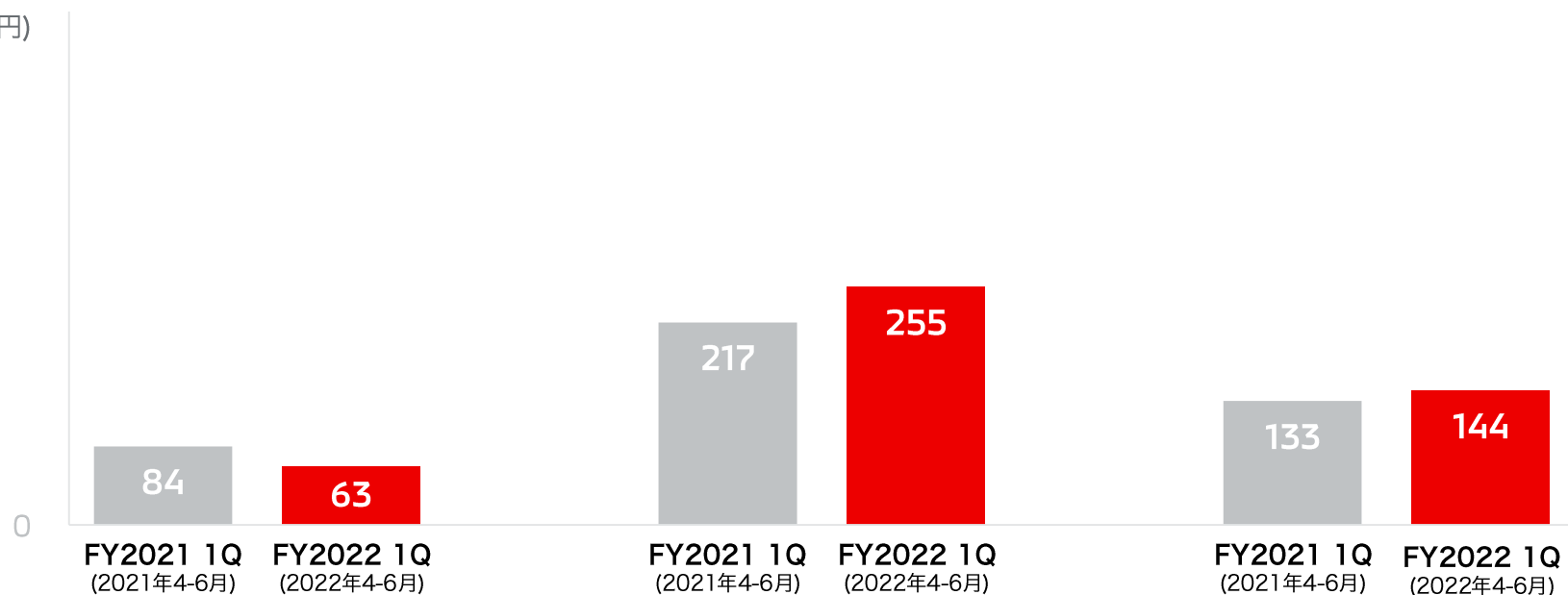
+18% (YoY)

減価償却費

144億円

+8% (YoY)

(億円)



2022年度第1四半期 地域別業績【前年同期比】

(億円)	売上高			営業利益		
	FY2021 1Q (2021年4-6月)	FY2022 1Q (2022年4-6月)	増減	FY2021 1Q (2021年4-6月)	FY2022 1Q (2022年4-6月)	増減
合計	4,319	5,287	+968	106	308	+202
- 日本	755	1,123	+368	-18	-71	-53
- アセアン	1,034	1,241	+207	62	74	+12
- 中国 他	45	22	-23	9	12	+3
- 北米	845	1,062	+217	24	160	+136
- 欧州	489	274	-215	-3	8	+11
- 豪州・NZ	578	748	+170	50	108	+58
- その他	573	817	+244	-18	17	+35

2022年度より欧州の一部国を「その他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2021年度実績数値も同様に変更。

2022年度 売上高見通し【前年度比】

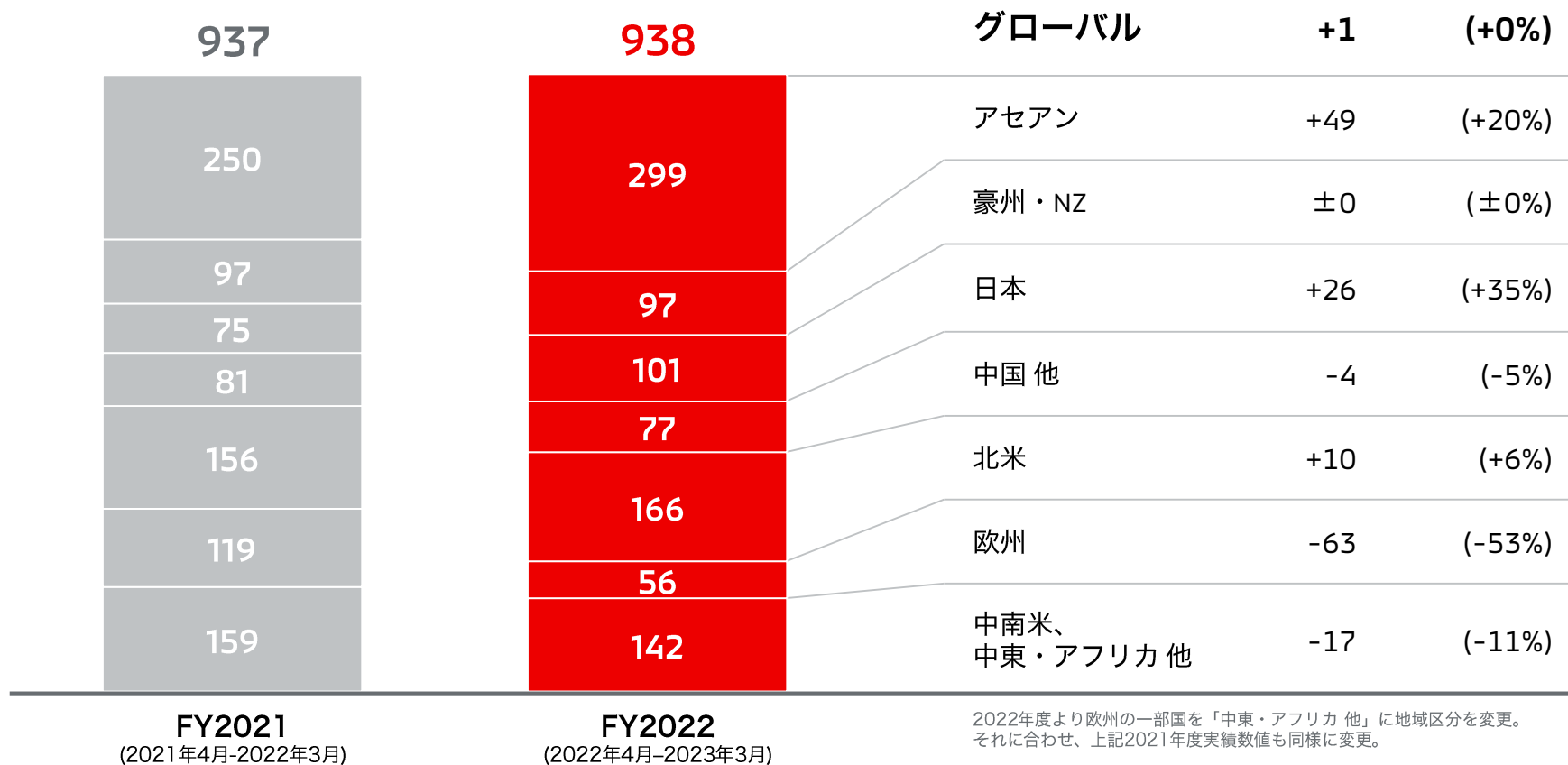
(億円)	FY2021 (2021年4月-2022年3月)	FY2022 見通し (2022年4月-2023年3月)	増減
合計	20,389	23,500	+3,111
- 日本	3,939	5,800	+1,861
- アセアン	4,661	5,950	+1,289
- 中国 他	167	150	-17
- 北米	3,972	5,200	+1,228
- 欧州	2,351	1,100	-1,251
- 豪州・NZ	2,547	2,800	+253
- その他	2,752	2,500	-252

2022年度より欧州の一部国を「その他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2021年度実績数値も同様に変更。

2022年度 販売台数見通し【前年度比】



小売台数（千台）



2022年度より欧州の一部国を「中東・アフリカ 他」に地域区分を変更。それに合わせ、上記2021年度実績数値も同様に変更。

2022年度 設備投資・研究開発費・減価償却費見通し

設備投資

1,000億円

+59% (YoY)

研究開発費

1,020億円

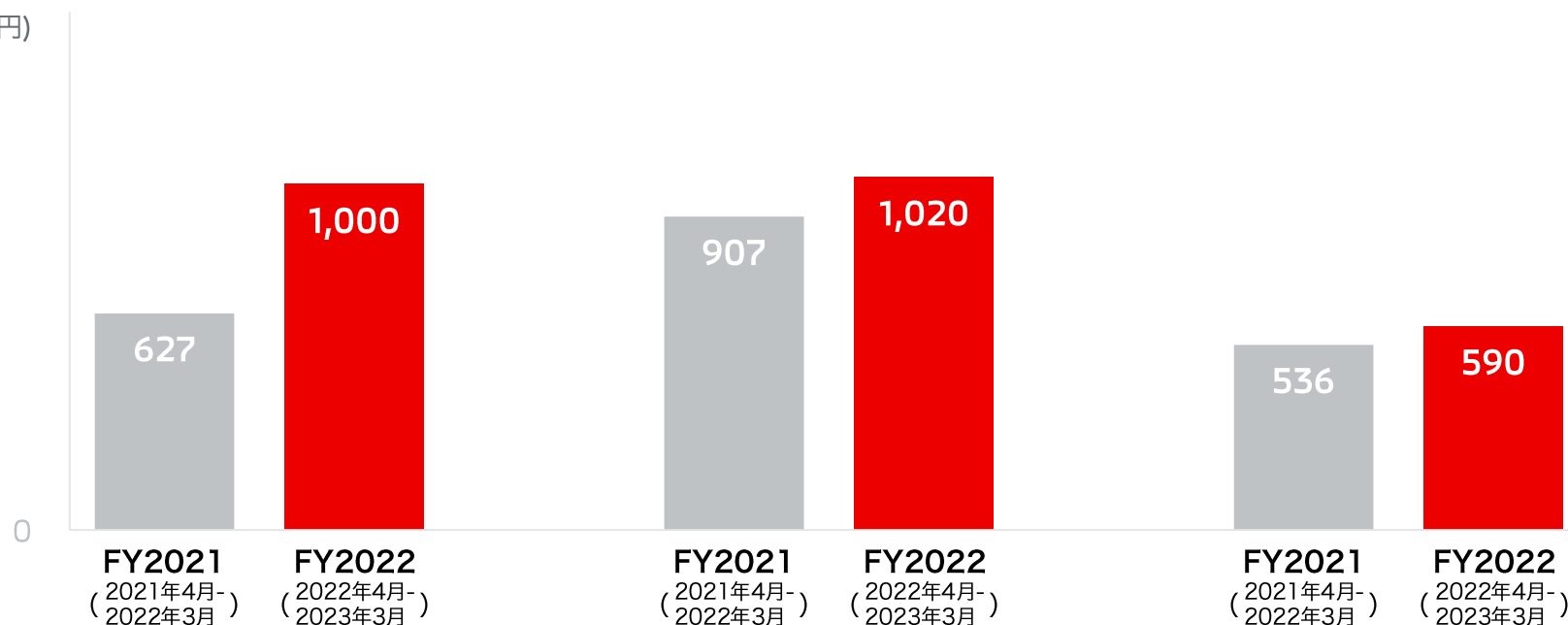
+12% (YoY)

減価償却費

590億円

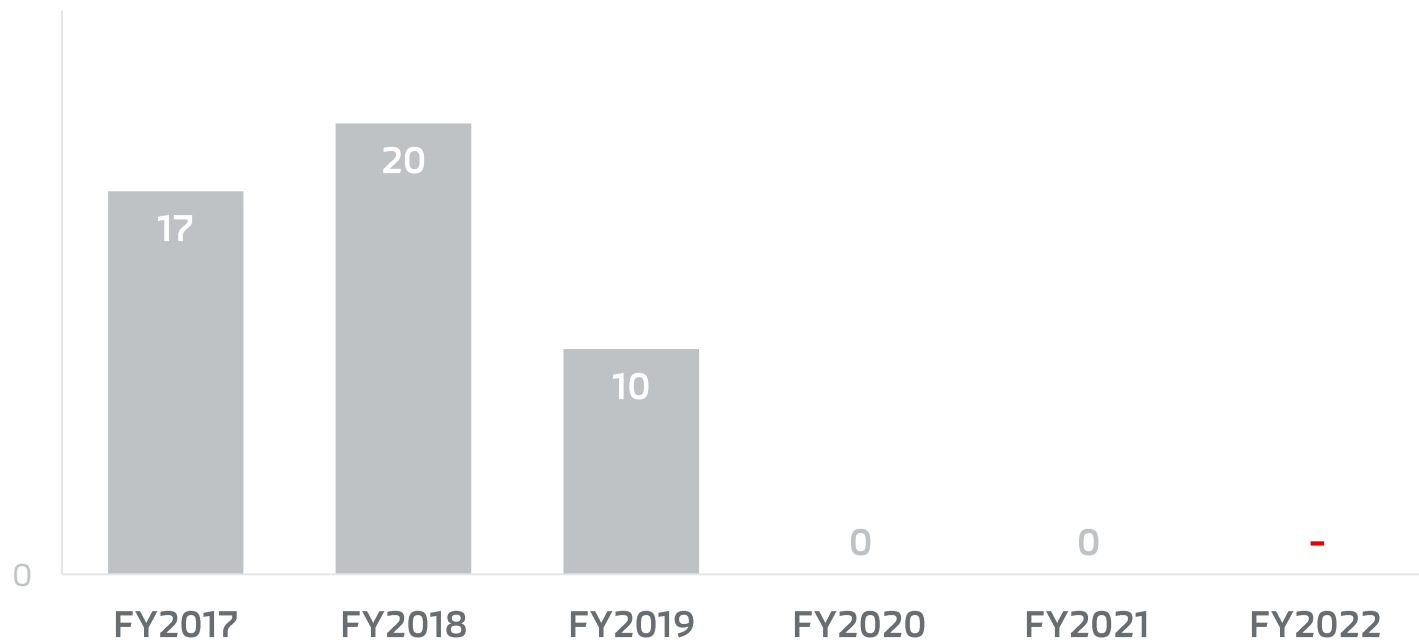
+10% (YoY)

(億円)



1株当たり配当金: 未定 (見通し)

(円)



本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでおります。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、金利・為替の変動、関係法令・規則の変更可能性等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。